

記者発表 (発表・資料配付)				
月/日 (曜)	担当課(室) 班名	電話番号 (直通)	発表者名 (担当主幹名)	発表 その他の 先 配付
2/15 (水)	高校教育課 教育指導班	内線 5736 (078-362-9444)	清瀬 欣之 (千家 弘行)	

平成29年度兵庫県公立高等学校推薦入学等受検状況

平成29年2月15日(水)10時現在
合格者発表は2月20日(月)

1 概況

	専門学科	コース				単位制		連携型	総計	特色選抜
		国際文化 系コース	自然科学 系コース	総合人間 系コース	健康福祉 系コース	普通科	総合学科	普通科		
推薦入学 実施校	54校 129学科 (学校数±0) (学科数±0)	5校 5コース (学校数±0) (コース±0)	13校 13コース (学校数+1) (コース+1)	4校 4コース (学校数±0) (コース±0)	1校 1コース (学校数±0) (コース±0)	8校 8課程 (学校数±0) (課程数±0)	15校 15学科 (学校数±0) (学科数±0)	2校 2学科 (学校数±0) (学科数±0)	95校 177学科 ・コース等 (学校数+1) (学科数等+1)	58校 58学科 (学校数-1) (学科数-1)
	21校23コース (学校数+1) (コース+1)					23校23課程・科 (学校数±0) (学科数±0)				
推薦 定員	4110名 (-71)	200名 (±0)	520名 (+40)	160名 (±0)	40名 (±0)	1200名 (±0)	1660名 (-20)	60名 (±0)	7950名 (-51)	1740名 (-12)
	920名 (+40)					2860名 (-20)				
15日実 施した 学科の 定員	4070名 [-71]	200名 [±0]	520名 [+40]	160名 [±0]	40名 [±0]	1200名 [±0]	1660名 [-20]	60名 [±0]	7910名 [-51]	1740名 [-12]
	920名 [+40]					2860名 [-20]				
15日の 受 検 数	5544名 [-181]	260名 [+19]	635名 [+76]	268名 [+17]	73名 [+29]	1929名 [-43]	2196名 [-12]	49名 [+11]	10954名 [-84]	2597名 [-97]
	1236名 [+141]					4125名 [-55]				
倍 率	1.36 (1.38)	1.30 (1.21)	1.22 (1.16)	1.68 (1.57)	1.83 (1.10)	1.61 (1.64)	1.32 (1.31)	0.82 (0.63)	1.38 (1.39)	1.49 (1.54)
	1.34 (1.24)					1.44 (1.45)				
倍 率 上 位 の 学 科	兵庫 創造科学 3.05 農業 動物科学 2.75 社 生活科学 2.40 市尼崎双星 商業学 2.33 市尼崎双星 ものづくり機械 2.25	明石城西 1.55	市姫路 1.70 姫路飾西 1.68	御影 2.05 市西宮東 1.85 尼崎 1.50	市飾磨 1.83	尼崎稲園 2.16 姫路東 1.94 西宮 1.91 北須磨 1.67 芦屋 1.55	明石南 1.56 武庫荘総合 1.53 市須磨翔風 1.52			尼崎西 2.67 市尼崎 2.64 姫路別所 2.46 姫路南 2.33 伊川谷北 2.29

※学校数、人数の()内は昨年比、[]内は平成28年2月14日(検査初日)との比較、
倍率の()内は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦又は
選抜定員)である。

※受検者数、倍率及び倍率上位の学科は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の受検
者数、倍率(受検者数÷推薦又は選抜定員)である。

※15日面接等を実施していない学校・学科・定員は次のとおり。(16日のみ実施)
県立宝塚北高等学校(演劇科(40))

※16日にも実技検査を実施する学校・学科は、県立西宮高等学校(音楽科(40))。

2 大学科等別集計表

学科名等	募集定員		志願者数	受検者数	欠席者数	H29	H28	備考
	定員	推薦定員				倍率	倍率	
農業科	960	480	623	623	0	1.30	1.34	
工業科	2600	1320	1677	1676	1	1.27	1.35	
商業科	1600	880	1254	1253	1	1.42	1.32	
家庭科	240	120	201	201	0	1.68	1.32	
福祉科	80	80	94	94	0	1.18	1.04	
水産科	40	20	43	43	0	2.15	1.65	
看護科	80	80	103	103	0	1.29	1.41	
音楽科	40	40	47	47	0	1.18	1.08	
美術科	40	40	50	50	0	1.25	1.28	
体育科	120	120	190	190	0	1.58	1.74	
演劇科	40	40	64				1.43	
理数科	360	360	606	603	3	1.68	1.84	
国際科	400	400	509	509	0	1.27	1.35	
総合科学科	160	90	107	107	0	1.19	1.07	
環境防災科	40	40	45	45	0	1.13	1.63	
専門学科小計	6800	4110	5613	5544	5	1.36	1.38	
国際文化系コース	200	200	260	260	0	1.30	1.21	
自然科学系コース	520	520	635	635	0	1.22	1.16	
総合人間系コース	160	160	268	268	0	1.68	1.57	
健康福祉系コース	40	40	73	73	0	1.83	1.10	
コース小計	920	920	1236	1236	0	1.34	1.24	
普通科単位制	2400	1200	1930	1929	1	1.61	1.64	
総合学科	3320	1660	2197	2196	1	1.32	1.31	
単位制小計	5720	2860	4127	4125	2	1.44	1.45	
連携型入学者選抜	80	60	49	49	0	0.82	0.63	
推薦計	13520	7950	11025	10954	7	1.38	1.39	

- ・H28倍率は、平成28年2月15日（検査最終日）発表の確定倍率（受検者数÷推薦定員）である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日（検査初日）午前10時現在の倍率（受検者数÷推薦定員）である。
- ・H29倍率は、検査最終日のみ実施の1学科の定員を除いて計算している。
（1学科とは県立宝塚北高等学校（演劇科）である。）

学科名等	募集定員		志願者数	受検者数	欠席者数	H29	H28	備考
	定員	選抜定員				倍率	倍率	
特色選抜	13080	1740	2600	2597	3	1.49	1.54	

- ・H28倍率は、平成28年2月15日（検査最終日）発表の確定倍率（受検者数÷選抜定員）である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日（検査初日）午前10時現在の倍率（受検者数÷選抜定員）である。

3 国際に関する学科・国際文化系コースのうち、帰国生徒の内数

学科・コース	計
国際探求学科・国際文化情報学科・国際科・国際人間科・国際総合科・国際文化科	12
国際文化系コース	1
合計	13

4 ホームページのアドレス

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~koko-bo/>

平成29年度 推薦入学志願等状況(専門学科)

高校	学科	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
神戸	総合理学	40	100	40	92	89	3	2.23	2.55	
兵庫	創造科学	40	100	40	122	122	0	3.05	2.68	
舞子	環境防災	40	100	40	45	45	0	1.13	1.63	
市葺合	国際	80	100	80	138	138	0	1.73	1.43	
国際	国際	120	100	120	130	130	0	1.08	1.43	
兵庫工業	建築	40	50	20	30	30	0	1.50	1.55	
	都市環境工学	40	50	20	24	24	0	1.20	1.00	
	デザイン	40	50	20	30	30	0	1.50	1.50	
	総合化学	40	50	20	21	21	0	1.05	0.85	
	機械工学	40	50	20	22	21	1	1.05	1.50	
	電気工学	40	50	20	22	22	0	1.10	0.80	
	電子工学	40	50	20	17	17	0	0.85	0.60	
洲本実業	情報技術	40	50	20	25	25	0	1.25	1.20	
	機械	40	50	20	20	20	0	1.00	1.55	
	電気	40	50	20	19	19	0	0.95	0.85	
	商業	40	50	20	17	17	0	0.85	0.60	
神戸商業	国際ビジネス	40	50	20	17	17	0	0.85	1.00	
	商業	200	50	100	125	124	1	1.24	1.38	
	情報	40	100	40	53	53	0	1.33	0.98	
市科学技術	会計	40	100	40	33	33	0	0.83	0.80	
	機械工学	120	50	60	102	102	0	1.70	1.68	
	電気情報工学	80	50	40	44	44	0	1.10	1.30	
	都市工学	80	50	40	71	71	0	1.78	2.20	
市神港橋	科学工学	80	50	40	50	50	0	1.25	1.75	
	みらい商学	320	50	160	248	248	0	1.55	1.11	
尼崎小田	国際探求学	40	100	40	47	47	0	1.18	1.43	
鳴尾	サイエンスリサーチ	40	100	40	42	42	0	1.05	0.90	
	国際文化情報学	40	100	40	41	41	0	1.03	1.25	
宝塚北	グローバルビジネス	40	100	40	85	85	0	2.13	2.55	
	演劇	40	100	40	64	64	0	1.60	1.43	
市尼崎	体育	80	100	80	130	130	0	1.63	1.78	
市尼崎双星	ものづくり機械	40	50	20	45	45	0	2.25	1.70	
	電気情報	40	50	20	31	31	0	1.55	1.85	
市伊丹	商業	80	50	40	93	93	0	2.33	2.30	
	商業	40	50	20	36	36	0	1.80	1.65	
市西宮	グローバル・サイエンス	40	100	40	65	65	0	1.63	1.95	
西宮	音楽	40	100	40	47	47	0	1.18	1.08	
有馬	人と自然	40	50	20	25	25	0	1.25	2.00	
氷上	営農	40	50	20	20	20	0	1.00	0.85	
	食品加工	40	50	20	22	22	0	1.10	0.95	
	生活	40	50	20	27	27	0	1.35	1.20	
	商業	40	50	20	24	24	0	1.20	0.95	
篠山東雲	地域農業	40	50	20	14	14	0	0.70	1.00	
	機械	80	50	40	71	71	0	1.78	1.68	
尼崎工業	電気	40	50	20	27	27	0	1.35	1.45	
	電子	40	50	20	37	37	0	1.85	1.25	
	建築	40	50	20	35	35	0	1.75	1.80	
篠山産業	生活	40	50	20	30	30	0	1.50	1.45	
	機械	40	50	20	30	30	0	1.50	0.80	
	電気	40	50	20	20	20	0	1.00	1.30	
	土木	40	50	20	19	19	0	0.95	0.65	
	商業	40	50	20	33	33	0	1.65	1.40	
明石	美術	40	100	40	50	50	0	1.25	1.28	
明石北	自然科学	40	100	40	51	51	0	1.28	1.38	
明石西	国際人間	40	100	40	44	44	0	1.10	1.15	
加古川東	理数	40	100	40	68	68	0	1.70	2.30	
松陽	商業	40	50	20	28	28	0	1.40	1.50	
	生活文化	40	50	20	34	34	0	1.70	1.45	
西脇	生活情報	40	50	20	26	26	0	1.30	1.45	
三木	国際総合	40	100	40	45	45	0	1.13	1.03	
小野	商業	40	50	20	30	30	0	1.50	1.45	
	国際経済	40	50	20	26	26	0	1.30	1.65	
社	生活科学	40	50	20	48	48	0	2.40	1.75	
	体育	40	100	40	60	60	0	1.50	1.68	

平成29年度 推薦入学志願等状況(専門学科)

高校	学科	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
農 業	農 業	40	50	20	27	27	0	1.35	1.25	
	園 芸	40	50	20	35	35	0	1.75	2.10	
	動 物 科 学	40	50	20	55	55	0	2.75	2.75	
	食 品 科 学	40	50	20	40	40	0	2.00	1.80	
	農 業 環 境 工 学	40	50	20	19	19	0	0.95	0.85	
	造 園	40	50	20	30	30	0	1.50	1.60	
播 磨 農 業	生 物 工 学	40	50	20	28	28	0	1.40	1.60	
	農 業 経 営	40	50	20	35	35	0	1.75	1.35	
	園 芸	40	50	20	29	29	0	1.45	1.50	
東 播 工 業	畜 産	40	50	20	40	40	0	2.00	1.60	
	機 械	80	50	40	43	43	0	1.08	0.95	
	電 気	80	50	40	42	42	0	1.05	1.23	
	建 築	40	50	20	17	17	0	0.85	2.15	
西 脇 工 業	土 木	40	50	20	19	19	0	0.95	1.00	
	機 械	80	50	40	54	54	0	1.35	0.98	
	電 気	40	50	20	18	18	0	0.90	1.15	
	工 業 化 学	40	50	20	25	25	0	1.25	1.05	
小 野 工 業	情 報 ・ 繊 維	40	50	20	18	18	0	0.90	0.75	
	総 合 技 術	40	50	20	21	21	0	1.05	1.30	
	機 械	40	50	20	24	24	0	1.20	2.25	
市 明 石 商 業	金 属 工 業	40	50	20	29	29	0	1.45	0.95	
	電 子	40	50	20	15	15	0	0.75	0.63	
	生 活 創 造	40	50	20	34	34	0	1.70	1.15	
龍 野	商 業	240	50	120	189	189	0	1.58	1.79	
	国 際 会 計	40	100	40	52	52	0	1.30	1.10	
上 郡	総 合 自 然 科 学	40	100	40	40	40	0	1.00	1.23	
	農 業	40	50	20	25	25	0	1.25	1.30	
	園 芸	40	50	20	25	25	0	1.25	1.65	
佐 用	農 業 土 木	40	50	20	18	18	0	0.90	1.10	
	農 業 科 学	40	50	20	27	27	0	1.35	1.75	
山 崎	家 政	40	50	20	32	32	0	1.60	1.05	
	森 林 環 境 科 学	40	50	20	20	20	0	1.00	1.45	
市 琴 丘	生 活 創 造	40	50	20	27	27	0	1.35	1.05	
	国 際 文 化	40	100	40	64	64	0	1.60	1.53	
飾 磨 工 業	機 械 工 学	40	50	20	22	22	0	1.10	1.90	
	電 気 工 学	40	50	20	22	22	0	1.10	0.75	
	エ ン バ ー 環 境 工 学	40	50	20	22	22	0	1.10	0.90	
	I T 工 学	40	50	20	19	19	0	0.95	0.90	
姫 路 工 業	健 康 科 学 工 学	40	50	20	26	26	0	1.30	1.75	
	機 械	80	50	40	58	58	0	1.45	1.53	
	電 気	40	50	20	33	33	0	1.65	1.10	
	工 業 化 学	40	50	20	29	29	0	1.45	1.40	
	デ ザ イン	40	50	20	30	30	0	1.50	1.20	
	溶 接	40	50	20	31	31	0	1.55	2.85	
相 生 産 業	電 子 機 械	40	100	40	53	53	0	1.33	1.25	
	機 械	80	50	40	43	43	0	1.08	1.98	
	電 気	40	50	20	18	18	0	0.90	0.95	
龍 野 北	商 業	80	50	40	71	71	0	1.78	1.60	
	電 気 情 報 シ ス テ ム	80	50	40	47	47	0	1.18	1.55	
	環 境 建 設 工 学	40	50	20	31	31	0	1.55	1.55	
	総 合 デ ザ イン	40	50	20	33	33	0	1.65	1.35	
姫 路 商 業	看 護	40	100	40	53	53	0	1.33	1.40	
	総 合 福 祉	40	100	40	53	53	0	1.33	1.13	
豊 岡	商 業	200	50	100	140	140	0	1.40	1.13	
	情 報 科 学	40	100	40	39	39	0	0.98	1.13	
香 住	理 数	40	100	40	41	41	0	1.03	1.03	
	海 洋 科 学	40	50	20	43	43	0	2.15	1.65	
日 高	電 機 応 用 工 学	40	50	20	12	12	0	0.60	1.00	
	環 境 建 設 工 学	40	50	20	11	11	0	0.55	0.75	
但 馬 農 業	看 護	40	100	40	50	50	0	1.25	1.43	
	福 祉	40	100	40	41	41	0	1.03	0.95	
	農 業	40	50	20	13	13	0	0.65	0.60	
県 立 大 学 附 属	畜 産	40	50	20	6	6	0	0.30	0.20	
	生 活	40	50	20	13	13	0	0.65	0.30	
専 門 学 科 合 計		160	90	107	107	0	1.19	1.07		
		6800	4110	5613	5544	5	1.36	1.38		

- ・兵庫県立大学附属高等学校の推薦定員は、附属中学校からの内部進学卒の70人を除いている。
 - ・推薦入学による募集定員は、各学科の募集定員の50%以内又は全部としている。
 - ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦定員)である。
 - ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷推薦定員)である。
 - ・H29倍率は、検査最終日のみ実施の1学科の定員を除いて計算している。
- (1学科とは県立宝塚北高等学校(演劇科)である。)

平成29年度 推薦入学志願等状況(国際文化系コース)

高校	コース	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
神戸鈴蘭台	国際文化系	40	100	40	43	43	0	1.08	1.00	
宝塚西	国際文化系	40	100	40	52	52	0	1.30	0.93	
市伊丹	国際文化系	40	100	40	52	52	0	1.30	1.75	
明石城西	国際文化系	40	100	40	62	62	0	1.55	1.13	
姫路飾西	国際文化系	40	100	40	51	51	0	1.28	1.23	
国際文化系コース5校 合計		200		200	260	260	0	1.30	1.21	

- ・推薦入学による募集定員は、コースの募集定員の全部としている。
- ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦定員)である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷推薦定員)である。

平成29年度 推薦入学志願等状況(自然科学系コース)

高校	コース	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
津名	自然科学系	40	100	40	43	43	0	1.08	0.98	
淡路三原	自然科学系	40	100	40	49	49	0	1.23	1.00	
川西緑台	自然科学系	40	100	40	57	57	0	1.43	-	新設
柏原	自然科学系	40	100	40	42	42	0	1.05	0.98	
篠山鳳鳴	自然科学系	40	100	40	42	42	0	1.05	1.05	
市西宮東	自然科学系	40	100	40	51	51	0	1.28	1.83	
小野	自然科学系	40	100	40	49	49	0	1.23	0.88	
姫路飾西	自然科学系	40	100	40	67	67	0	1.68	1.25	
相生	自然科学系	40	100	40	54	54	0	1.35	1.40	
福崎	自然科学系	40	100	40	31	31	0	0.78	0.90	
市姫路	自然科学系	40	100	40	68	68	0	1.70	1.65	
八鹿	自然科学系	40	100	40	43	43	0	1.08	1.00	
生野	自然科学系	40	100	40	39	39	0	0.98	1.08	
自然科学系コース13校 合計		520		520	635	635	0	1.22	1.16	

- ・推薦入学による募集定員は、コースの募集定員の全部としている。
- ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦定員)である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷推薦定員)である。

平成29年度 推薦入学志願等状況(総合人間系コース)

高校	コース	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
御影	総合人間系	40	100	40	82	82	0	2.05	1.75	
尼崎	総合人間系	40	100	40	60	60	0	1.50	0.93	
市西宮東	総合人間系	40	100	40	74	74	0	1.85	1.95	
北条	総合人間系	40	100	40	52	52	0	1.30	1.65	
総合人間系コース4校 合計		160		160	268	268	0	1.68	1.57	

- ・推薦入学による募集定員は、コースの募集定員の全部としている。
- ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦定員)である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷推薦定員)である。

平成29年度 推薦入学志願等状況(健康福祉系コース)

高校	コース	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
市飾磨	健康福祉系	40	100	40	73	73	0	1.83	1.10	

- ・推薦入学による募集定員は、コースの募集定員の全部としている。
- ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦定員)である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷推薦定員)である。

平成29年度 推薦入学志願等状況(普通科単位制)

高校	学科	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
北須磨	普通	240	50	120	200	200	0	1.67	1.48	
芦屋	普通	320	50	160	248	248	0	1.55	1.61	
市六甲アイランド	普通	400	50	200	260	260	0	1.30	1.56	
尼崎稲園	普通	280	50	140	303	303	0	2.16	2.00	
西宮	普通	320	50	160	307	306	1	1.91	1.83	
三田祥雲館	普通	240	50	120	141	141	0	1.18	1.77	
加古川北	普通	320	50	160	200	200	0	1.25	1.08	
姫路東	普通	280	50	140	271	271	0	1.94	1.92	
普通科単位制8校	合計	2400		1200	1930	1929	1	1.61	1.64	

- ・推薦入学による募集定員は、各高等学校の募集定員の50%以内としている。
- ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦定員)である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷推薦定員)である。

平成29年度 推薦入学志願等状況(総合学科)

高校	学科	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
神戸甲北	総合	240	50	120	146	146	0	1.22	1.32	
須磨友が丘	総合	240	50	120	133	133	0	1.11	1.24	
淡路	総合	120	50	60	80	80	0	1.33	1.10	
市須磨翔風	総合	320	50	160	243	243	0	1.52	2.09	
武庫荘総合	総合	320	50	160	244	244	0	1.53	1.42	
伊丹北	総合	240	50	120	147	147	0	1.23	1.37	
西宮今津	総合	240	50	120	173	173	0	1.44	1.39	
有馬	総合	200	50	100	116	116	0	1.16	0.94	
明石南	総合	280	50	140	219	219	0	1.56	1.46	
加古川南	総合	240	50	120	159	159	0	1.33	0.98	
三木東	総合	200	50	100	131	131	0	1.31	1.12	
太子	総合	240	50	120	177	177	0	1.48	1.53	
香寺	総合	200	50	100	135	134	1	1.34	1.09	
豊岡総合	総合	120	50	60	67	67	0	1.12	1.15	
和田山	総合	120	50	60	27	27	0	0.45	0.50	
総合学科15校	合計	3320		1660	2197	2196	1	1.32	1.31	

- ・推薦入学による募集定員は、各高等学校の募集定員の50%以内としている。
- ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦定員)である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷推薦定員)である。

平成29年度 連携型入学者選抜志願等状況

高校	学科	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	推薦 (%)	推薦 定員						
氷上西	普通	40	75	30	28	28	0	0.93	0.53	
千種	普通	40	75	30	21	21	0	0.70	0.73	
連携型中高一貫教育校2校	合計	80		60	49	49	0	0.82	0.63	

- ・連携型入学者選抜による募集定員は、各高等学校の募集定員の75%としている。
- ・連携型入学者選抜に志願できる者は、連携型中学校からの志願者とする。
(氷上西高等学校は丹波市立氷上中学校と青垣中学校、千種高等学校は宍粟市立千種中学校である。)
- ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷推薦定員)である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷推薦定員)である。

平成29年度 特色選抜志願等状況

高校	学科	募集定員			志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
		定員	選抜 (%)	選抜 定員						
東灘	普通	280	15	40	64	64	0	1.60	1.93	
夢野	普通	280	10	28	39	39	0	1.39	2.39	
神戸北	普通	200	15	30	47	47	0	1.57	1.00	
長田	普通	320	15	40	63	63	0	1.58	1.65	
須磨東	普通	280	10	28	32	32	0	1.14	1.75	
星陵	普通	280	15	40	47	47	0	1.18	1.06	
舞子	普通	240	5	12	10	10	0	0.83	1.50	
伊川谷北	普通	240	10	24	55	55	0	2.29	2.64	
伊川谷	普通	240	15	36	49	49	0	1.36	1.42	
神戸高塚	普通	240	15	36	58	58	0	1.61	1.64	
洲本	普通	240	10	24	12	12	0	0.50	0.83	
尼崎小田	普通	240	15	36	66	66	0	1.83	2.00	
尼崎北	普通	320	15	40	79	79	0	1.98	2.83	
尼崎西	普通	240	10	24	64	64	0	2.67	2.00	
伊丹	普通	320	15	40	71	71	0	1.78	1.45	
伊丹西	普通	280	10	28	52	52	0	1.86	1.68	
川西明峰	普通	320	10	32	27	27	0	0.84	0.69	
川西北	普通	280	15	40	50	50	0	1.25	1.18	
猪名川	普通	200	15	30	42	42	0	1.40	1.17	
鳴尾	普通	280	15	40	56	56	0	1.40	1.73	
西宮北	普通	240	10	24	42	42	0	1.75	2.18	
西宮甲山	普通	200	15	30	43	43	0	1.43	1.33	
西宮南	普通	280	10	28	39	39	0	1.39	1.54	
宝塚	普通	280	10	28	51	50	1	1.79	1.57	
宝塚東	普通	320	10	32	47	47	0	1.47	1.59	
北摂三田	普通	240	20	40	47	47	0	1.18	1.35	
三田西陵	普通	240	20	40	48	48	0	1.20	1.89	
市尼崎	普通	240	15	36	95	95	0	2.64	2.22	
市尼崎双星	普通	200	15	30	38	38	0	1.27	1.20	
市西宮	普通	280	15	40	66	66	0	1.65	2.20	
明石	普通	320	15	40	49	48	1	1.20	1.40	
明石清水	普通	320	15	40	68	68	0	1.70	1.25	
明石西	普通	320	15	40	66	66	0	1.65	2.13	
加古川	普通	320	15	40	46	45	1	1.13	0.98	
高砂	普通	240	20	40	72	72	0	1.80	1.83	
高砂南	普通	280	15	40	57	57	0	1.43	1.85	
松陽	普通	120	15	18	26	26	0	1.44	1.06	
東播磨	普通	280	15	40	67	67	0	1.68	1.75	
播磨南	普通	240	15	36	60	60	0	1.67	1.08	
西脇	普通	240	10	24	23	23	0	0.96	0.79	
三木北	普通	160	15	24	43	43	0	1.79	0.95	
吉川	普通	120	10	12	12	12	0	1.00	1.25	
社	普通	160	15	24	30	30	0	1.25	1.38	
多可	普通	120	20	24	29	29	0	1.21	1.39	
姫路別所	普通	160	15	24	59	59	0	2.46	2.50	
姫路西	普通	280	15	40	55	55	0	1.38	1.93	
姫路南	普通	240	15	36	84	84	0	2.33	1.56	
網干	普通	200	15	30	36	36	0	1.20	1.20	
家島	普通	40	50	20	23	23	0	1.15	1.20	
赤穂	普通	280	10	28	45	45	0	1.61	0.96	
神崎	普通	80	15	12	21	21	0	1.75	1.17	
夢前	普通	120	15	18	27	27	0	1.50	1.06	
伊和	普通	80	10	8	7	7	0	0.88	0.63	
上郡	普通	120	15	18	24	24	0	1.33	1.44	
山崎	普通	160	15	24	18	18	0	0.75	0.96	
出石	普通	80	15	12	13	13	0	1.08	1.25	
浜坂	普通	80	15	12	13	13	0	1.08	1.00	
村岡	普通	80	50	40	28	28	0	0.70	0.85	
特色選抜58校 合計		13080		1740	2600	2597	3	1.49	1.54	

- ・特色選抜による募集定員は、各高等学校の募集定員の20%（家島、村岡は50%）以内（最大40人）としている。
- ・H28倍率は、平成28年2月15日（検査最終日）発表の確定倍率（受検者数÷選抜定員）である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日（検査初日）午前10時現在の倍率（受検者数÷選抜定員）である。

平成29年度 外国人生徒にかかる特別枠選抜志願等状況

高校	学科	定員	志願者数	受検者数	欠席者数	H29 倍率	H28 倍率	備考
芦屋	普通(単)	3	8	8	0	2.67	1.67	
神戸甲北	総合	3	2	2	0	0.67	0.33	
香寺	総合	3	3	3	0	1.00	1.00	
モデル校3校 合計		9	13	13	0	1.44	1.00	

- ・入学定員とは別枠で実施する。
- ・H28倍率は、平成28年2月15日(検査最終日)発表の確定倍率(受検者数÷定員)である。
- ・H29倍率は、平成29年2月15日(検査初日)午前10時現在の倍率(受検者数÷定員)である。

平成29年度兵庫県公立高等学校入学者選抜における推薦入学及び 特色選抜等の適性検査問題等の概要について

1 専門学科・コースの推薦入学

(1) 選抜方法

- ・面接
- ・適性検査（各学校が必要に応じて実施することができる。）
- ・実技検査（各学校が必要に応じて実施することができる。）
- ・小論文（作文）（各学校が必要に応じて実施することができる。）

(2) 適性検査・実技検査の概要

趣 旨	・学校、学科、コースの特色等に応じて、中学校における学習進度に配慮し、 受検者が将来学習する上での適性や能力を判定する。
出 題 例	〔英語〕（適性検査） ○県立明石西高等学校 国際人間科の推薦入学…P11 ・外国の高校生に日本の高校で学ぶ良さを伝える場面において、身近な話題を 取り入れながら相手と自分の発話を考え、筋道の通った会話を完成させる ことにより、思考力・表現力を問う。

(3) 小論文（作文）の概要

趣 旨	・学校、学科、コースの特色に即して、受検者が各学校を志望する動機・理由、 将来の進路等を確認する。
出 題 例	○県立福崎高等学校 総合科学コースの推薦入学…P12・13 ・科学を媒介とした人間と自然との関係性に関する文章を読み、自身と自然と の関わりを考察した上で、高校で学びたい内容等について問う。

2 単位制による課程（全日制普通科）の推薦入学

(1) 選抜方法

- ・面接
- ・適性検査

(2) 適性検査の概要

趣 旨	・学校の特色等に応じて、中学校における学習進度に配慮し受検者が将来多様 な選択科目を履修するために必要な適性を判定する。
出 題 例	〔検査Ⅰ〕 ○県立加古川北高等学校 単位制普通科の推薦入学…P14 ・2016年の出来事を題材に、多面的・多角的に社会的事象について考察するこ とに加え、地図やグラフの読み取り、日本や世界の地理や歴史、政治や経済 に関する基本的な知識を問う。

3 総合学科の推薦入学

(1) 選抜方法

- ・面接
- ・小論文（作文）

(2) 小論文（作文）の概要

趣 旨	・学校、学科の特色に即して、受検者が各学校を志望する動機・理由、興味・関心のある分野、進路決定への意欲等を確認する。
出題例	○県立香寺高等学校 総合学科の推薦入学…P15・16 ・歴史や科学を学ぶことによる世界の見え方の違いについて書かれた文章を読み、自身が興味を持った事象と、総合学科で学ぼうとする意欲について問う。

4 特色選抜

(1) 選抜方法

- ・面接
- ・実技検査（各学校が必要に応じて実施することができる。）
- ・小論文（作文）（各学校が必要に応じて実施することができる。）

(2) 実技検査の概要

趣 旨	・学校の特色等に応じて、中学校における学習進度に配慮し受検者が将来学習する上での適性を判定する。
出題例	○県立伊川谷北高等学校 芸術類型の特色選抜…P17 ・美術の実技検査において、与えられたモチーフを机上に配置し、画用紙に鉛筆で描写させる。

(3) 小論文（作文）の概要

趣 旨	・学校の特色に即して、受検者が各学校を志望する動機・理由、将来の進路等を確認する。
出題例	○県立吉川高等学校 情報キャリア類型の特色選抜…P18 ・世界のインターネット利用比率の推移を示した表を読み取り、グローバル人材とは何かを考察するとともに、目指すべき高校生活像について問う。

5 外国人生徒にかかる特別枠選抜

(1) 選抜方法

- ・面接
- ・適性検査

(2) 適性検査の概要

趣 旨	・受検者の日本語運用能力等に配慮し、受検者が入学後の学習支援を活用しながら、学習する上での適性や能力を判定する。
出題例	〔国語〕（適性検査） ○県立香寺高等学校 外国人生徒にかかる特別枠選抜…P19 ・短い日本語の文章を読んで、基礎的な語彙の知識・理解を問う。

[適性検査]

Ⅴ 次の場面設定を読み、それに従って英文を書きなさい。

<場面設定>

あなたは、今、オーストラリアでホームステイをしながら現地の学校に通学しています。クラスメイトの Emma は、1年間、日本に留学したいと考えています。あなたは Emma からそのことについて相談を受けました。

次の文中の空所①～③に、以下の条件に合う英文を書き、あなたと Emma との会話を完成させなさい。

[条件] ・会話文中の各空所には、以下の内容を含むこと。

空所① Emma が日本に留学したい理由

空所② 留学を決断できない理由

空所③ 日本への留学を勧めるアドバイス (①の内容と異なるものとする)

・それぞれ15語以上の文章を書くこと。

・それぞれの文が、主語と動詞を含む文であること。

Emma: Hi, ○○(あなたの名前). I have something to *talk over with you. Can I talk to you now?

あなた: Of course. What's up?

Emma: ①

But I haven't decided yet.

あなた: Why?

Emma: ②

あなた: Don't worry! ③

Emma: Thank you for your *advice. I'll talk about it with my family.

あなた: I'm looking forward to seeing you in Japan in the future!

(注) talk over ... …について相談する advice アドバイス、助言

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

鳥は、本当に自由なのだろうか。私はそうではないと思う。鳥はいわば空の中に閉じこめられている。魚も同様で、水の中に閉じこめられている。鳥は空を「空」とは呼ばず、魚も水を「水」と名づけることはない。人間がするようには自分の住む世界を対象として捉えることがないからだ。人間は言葉を用い、空を「空」と呼び、海を「海」と名づけた。いわば世界と自分をはっきり分けて認識している。その意味で人間は、世界の中に閉じこめられてはいない。言い換えれば人間は、鳥や魚と同じような意味では「自然(=世界)」の中に生きていない。おそらくこのことが、①人間、とりわけ若い皆さんが世界と自分との間にズレを感じる理由だ。

重要なことは、このズレがあるからこそ、人間はほかの動物のように自足することができず、自分が生きる世界を絶えずつくり替えていかなければならないということ。例えば、森を切り拓き、田畑をつくる。これこそ人間だけが持っている自由であり、人間が自由である証しなのだが、見方を変えれば、その自由に閉じこめられているともいえなくはない。人間は、自分が生きている世界と自分との間に越えがたいズレを感じながら、(孤独ではあるけれども)自由に、世界を学び、世界を自分に合うようにつくり替える努力を積み重ねてきた。それが歴史ということ。②私たちは今、その結果としての世界を生きているのだ。

しかし現代において、人間が行っている世界のつくり替えは、あまりにも高度で複雑だ。例えば、地下鉄を通したり、ジェット機を飛ばしたりしているが、そのために何が必要かを挙げてみればわかる。まず、言葉を知らなければならない。世界の仕組みを理解して記述するには、数学がなければならない。物理学も工学も欠かせない。いくつものことを積み重ねて、ようやくジェット機が一機、空を飛べる。

そうした数学や物理学、工学は、自然そのものではなく、人間が自然を学びながらつくり出した体系であるから、学ぶことには二段階あることになる。星の運行から暦をつくり、めぐる季節の知識を生かした耕作や狩猟を行うなど、③自然を学ぶことが第一段階だとすれば、自然を学んだ人間がつくり出したものを学ぶことが第二段階だ。現代を生きる我々には、この「二重の学び」が宿命づけられており、この④第二段階のために特に必要とされているのが学校ということになる。

(『何のために「学ぶ」のか 中学生からの大学講義1』より、小林康夫「学ぶことの根拠」)

問1 下線部①について、「人間」が「世界と自分との間にズレを感じる理由」を、40字以上50字以内で説明しなさい。

問2 下線部②の「その結果としての世界」とは、どういう世界なのか、40字以上50字以内で説明しなさい。

問3 下線部③「自然を学ぶことが第一段階だ」とあるが、あなたが自然から学んだことは何か、本文の例を使わずに、自分の実体験を80字以上100字以内で、具体的に説明しなさい。

問4 下線部④「第二段階のために特に必要とされているのが学校」とある。将来何をしたいのかを明確にした上で、あなたは第二段階として、本校の総合科学コースで何を学びたいのか、問3の答えと関連付けながら、180字以上200字以内で、具体的に説明しなさい。

単位制による課程（全日制普通科）の推薦入学 出題例

〔適性検査〕

II 社会の授業で2016年上半期のニュースについて、インターネットを利用して調べていたところ、以下のような記事が目にとまった。それぞれの記事を読み、あとの問いに答えなさい。

2016年1月の記事

①北陸地方から②中国地方の日本海側や③九州地方を中心に雪。沖縄でa 39年ぶりの降雪、奄美大島で115年ぶりの降雪、長崎で観測史上1位となる17cmの積雪を記録。b 空の便が欠航するなど大きな乱れ、交通事故が多発。④関東地方でも再び雪に対する警戒が必要。

問1 「温暖な気候をいかした野菜の促成栽培が盛んな地域がある一方で、古い火山の噴出物によってできたシラス台地での農業には大変な苦労があった。」この説明に該当する地方としてもっとも適切なものを、上の記事の下線部①～④から1つ選んで、その数字を書きなさい。

問2 「稲作の割合が高く、単作で米を作っている割合が高い。魚沼産の『コシヒカリ』は、日本有数の銘柄米として高い価格で販売されている。また、織物や漆器、金物などの工芸品をつくる農家の副業が、古くから発達し、これらは地場産業として受け継がれている。」この説明に該当する地方としてもっとも適切なものを、上の記事の下線部①～④から1つ選んで、その数字を書きなさい。

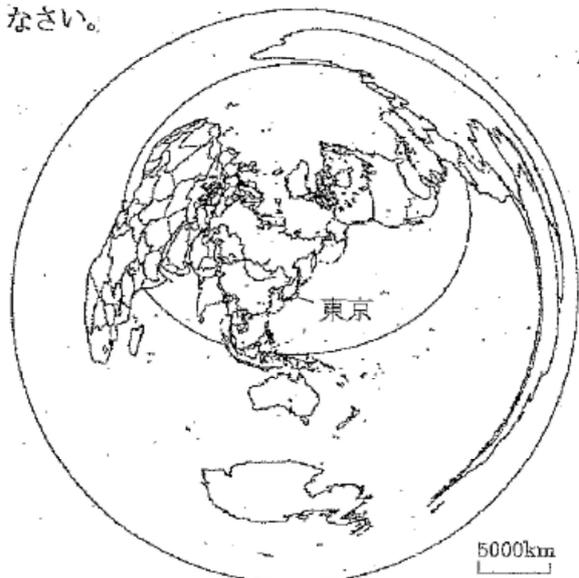
問3 「近郊農業や婦恋村のキャベツのように気候の特色をいかした農業が盛んである。その結果、地方別の野菜産出額はここ数年、第1位である。」この説明に該当する地方としてもっとも適切なものを、上の記事の下線部①～④から1つ選んで、その数字を書きなさい。

問4 下線部aについて、今から115年前から39年前の間に起こった出来事として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 大日本帝国憲法発布 イ 東京オリンピック ウ 世界恐慌 エ 韓国併合

問5 下線部bについて、次の地図は東京からの飛行機の最短経路や方位を正しく表している地図である。この地図を参考に、①東京—ニューヨーク間の直線距離、②航空機を利用して東京から真東へ向かって出発した際、最初に通過する大陸にある国の組み合わせとしてもっとも適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア ①10,000km ②ブラジル
イ ①15,000km ②カナダ
ウ ①10,000km ②カナダ
エ ①15,000km ②ブラジル



[小論文]

II 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

人間が自ら体験して知ることには限りがあります。でも本を読んでいくと、自分が知らない世界を、まるで目の前で見えるように知っていくことができます。本によって「体験」できることも多いのです。本からどれだけ私はいろんなことを学んだらうか、とよく思います。

(中 略)

よく「人生を変えた一冊」という雑誌の特集などがありますが、私の場合は、ひとつは、『続地方記者』(朝日出版社・絶版)でした。小学校六年生のときに自宅近くの書店で小遣いで買った本です。新聞社の地方支局に配属された記者たちの仕事ぶり、その哀歓を描いたドキュメント^{※1}です。私は、ここに登場する記者たちの活躍ぶりに魅了されました。他社との抜きつ抜かれつの特ダネ^{※2}競争のワクワク感。警察より先に事件の容疑者に接触してしまう記者のスリル。

①これぞ人生だ。子ども心に感激し、「将来は地方で働く新聞記者になろう」と決意したのです。

当時、記者といえば新聞記者。テレビのニュースはほとんどなく、テレビ局にも記者がいることを知らなかったからです。②大学四年生になって就職活動の過程で、「これからはテレビの時代かも知れない」と思うようになり、NHKを受験しました。NHKの記者は全員が地方勤務から始まることを知って、小学生時代からの夢である地方記者になれると思ったからです。

地方記者は、警察から検察、裁判所、市役所、県庁、日銀^{※3}、農協……と、あらゆる経験を積むことができます。記者としての基礎基本を学ぶことができました。これが、今の私を形作っていると思うのです。きっかけは一冊の本との出会い。まことに本は人生を変えるのです。

※1 ドキュメント……公的記録。

※2 特ダネ……新聞・雑誌の記事などで、ある社だけが入手した特別の情報。

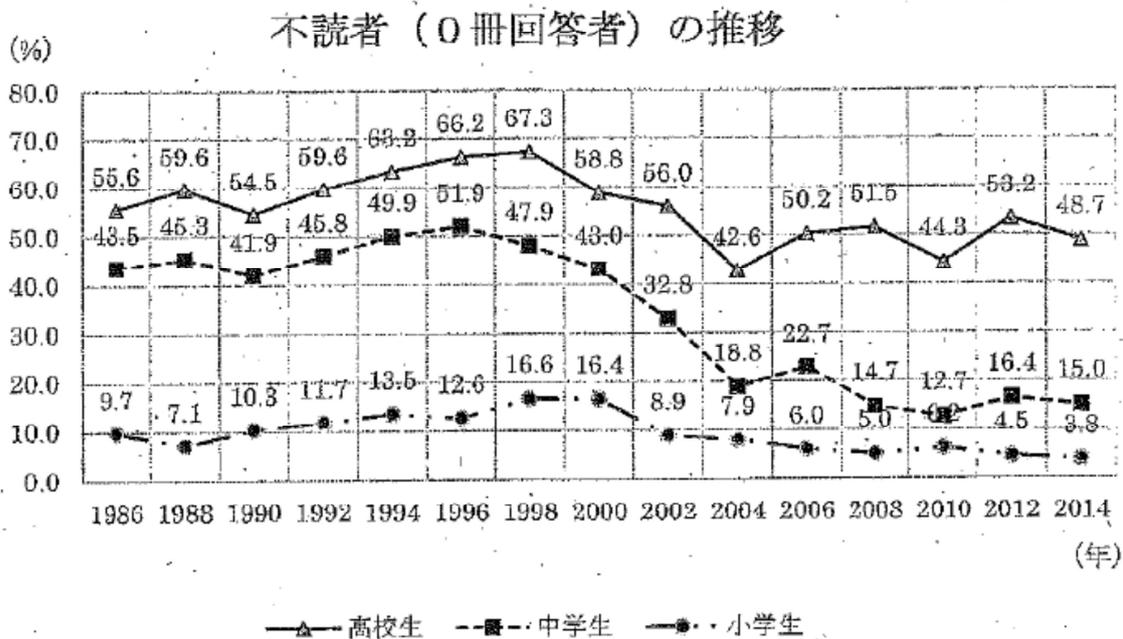
※3 日銀……日本銀行の略称。

出典 池上 彰「学び続ける力」、講談社現代新書(表記方法を一部変更)

問1 下線部①について、筆者が「将来は地方で働く新聞記者になろう」と思ったのはなぜですか。30字以内で答えなさい。

問2 下線部②について、NHKを受験した筆者は合格しました。筆者にとってNHKの記者になったことはどのような点で大きな意味を持ちましたか。2点に分けて、それぞれ25字以内で答えなさい。

問3 筆者は本文で自身の読書体験について述べています。下のグラフは、子どもの読書活動の現状について、小学生・中学生・高校生の「不読者（0冊回答者）の推移」を表したものです。このグラフから読み取れる傾向として適当でないものを、次の(ア)～(エ)から1つ選び、符号で答えなさい。



出典「全国学校図書館協議会，第61回学校読書調査」（表示方法を一部変更）。

- (ア) 小学生・中学生・高校生の中では、小学生が一番本をよく読んでいる。
- (イ) 小学生・中学生・高校生は、2000年以降いずれも次第に本を読むようになってきている。
- (ウ) 小学生と中学生を比べると、中学生の割合の方が大きく変動している。
- (エ) 小学生・中学生・高校生へと進むにつれて、次第に本を読まないようになってきている。

問4 筆者は一冊の本との出会いによって夢を見つけました。あなたは何がきっかけとなって、どのような夢や希望や目標を抱くようになりましたか。また、香寺高校の総合学科の特色をどのように活かし、具体的にどうやって夢や希望や目標の実現を図っていこうと考えていますか。270字以上300字以内で書きなさい。

特色選抜 出題例

〔実技検査〕

配布されたモチーフ「木工用ボンド」を配布された画用紙に鉛筆で描写(写生)しなさい。

注意事項

- 1 モチーフは机の上に配布された状態であること。
- 2 モチーフの角度(向き)は指示の通りとする。

特色選抜 出題例

[小論文]

問1 次の表は、2004年から2013年における世界のインターネット利用者比率の推移に関するものである。後のアからオの内容について、グラフから読み取れるものには○を、読み取れないものには×をそれぞれ解答欄に書きなさい。

世界のインターネット利用者比率の推移										
	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
										(%)
日本	62.4	66.9	68.7	74.3	75.4	78.0	78.2	79.1	86.3	86.3
オーストラリア	-	63.0	66.0	69.5	71.7	74.3	76.0	79.5	79.0	83.0
カナダ	66.0	71.7	72.4	73.2	76.7	80.3	80.3	83.0	83.0	85.8
中国	7.3	8.5	10.5	16.0	22.6	28.9	34.3	38.3	42.3	45.8
フランス	39.2	42.9	46.9	56.1	70.7	71.6	77.3	77.8	81.4	81.9
ドイツ	64.7	68.7	72.2	75.2	78.0	79.0	82.0	81.3	82.3	84.0
インド	2.0	2.4	2.8	4.9	4.4	5.1	7.5	10.1	12.6	15.1
イタリア	33.2	35.0	38.0	40.8	44.5	48.8	53.7	54.4	55.8	58.5
韓国	72.7	73.5	78.1	78.8	81.0	81.6	83.7	83.8	84.1	84.8
メキシコ	14.1	17.2	19.5	20.8	21.7	26.3	31.1	37.2	39.8	43.5
オランダ	68.5	81.0	83.7	85.8	87.4	89.6	90.7	91.4	92.9	94.0
台湾(中国)	53.8	58.0	63.7	64.5	65.8	69.9	71.5	72.0	76.0	80.0
英国	65.6	70.0	68.8	75.1	78.4	83.6	85.0	85.4	87.5	89.8
米国	64.8	68.0	68.9	75.0	74.0	71.0	71.7	69.7	79.3	84.2

(出典)「ITU World Telecommunication/ICT indicators 2014」

- ア 表にあるすべての国において、毎年利用者の割合が増えている。
- イ 日本では、2004年の利用者の割合は6割を上回っている。
- ウ 中国の利用者の割合が増加した背景には、経済発展がある。
- エ 2013年において、利用者の割合が半数に満たない国は三カ国である。
- オ 2004年から2013年までの10年間で、利用者の割合が7倍以上になった国がある。

問2 インターネットの普及により、ますます世界中の人とつながることができるようになり、国際化が進んでいます。こういった背景により、日本だけでなく、国際的に活躍できるグローバルな人材が求められるようになりました。

あなたは本校入学後、情報キャリア類型でどのようなことを学びたいですか。また、高校卒業後にどのような進路に進もうと考えていますか。550字以上600字以内で書きなさい。

外国人生徒にかかる特別枠選抜 出題例

[適性検査]

II 次の1～5の文について、表記が適切なものを、それぞれ次のア、イから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- 1 彼は、(ア おとおと イ おとうと) と仰がよい。
- 2 私は、(ア がっこう イ がつこう) で学んでいます。
- 3 平和な毎日が (ア つづ イ つず) いてほしいものです。
- 4 この本は、とても (ア をもしろい イ おもしろい)。
- 5 オリンピックは (ア せかいじゅう イ せかいぢゅう) の人々が注目する。

III 次の1～5の文の()に入る適切なものを、それぞれあとの語群のア～キから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- 1 () 彼女が優勝するとは限らない。
- 2 () 雨がやみました。
- 3 その蝶は、() 宝石のように美しかった。
- 4 明日の試合は、() 雨でも行う予定です。
- 5 どんな困難があっても、() 私はくじけません。

語群

ア どうして	イ たとえ	ウ まさか	エ やっと
オ けっして	カ まるで	キ かならずしも	